



東中学校

NO.15 令和3年2月18日

文責:中山 

# 実際の授業から流れを読み取るう!

【前回からのつづき・・・】

展開

### 課題設定Ⅱ

では、課題 I で示した3つの大学の順位変動表を使って、課題 II のワー クシートに折れ線グラフを書いてみよう

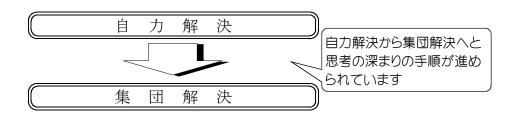
#### 【課題Ⅱ】

順位変動表から、A.B.Cの大学の順位の変化をグラフ用紙に折れ線 グラフに書いてみましょう。

また、これらの折れ線グラフから、新たに気付いたことをワークシー トに書きましょう。

まずは、1つのグラフ用紙に折れ線グラフを3つ書いてみましょう。 次に新たに気付いたことをワークシートに書いてください。

どうしてそのように気付いたのかを説明できるように書いてください。



それでは、3人の班になりましょう。

1人1分間ずつで自分の考えを発表していってください。司会者、質問 者や助言者もお願いします。

班の友達の意見を聞いて分かったことや考え直したことなどをワークシ ートの右側上に書いてください。

## 全 体 共 有

各班発表してください。なぜ、そのように気付いたのかも説明してくだ さい。

C:グラフを書くと、たくさん抜いた時や抜かれたときは折れ線グラフの傾 きが急になる。

C:順位が変わらないときには、横にまっすぐになる。

皆さんが発表してくれたことの中で、折れ線グラフに書いたことで、そ の傾きは何を表しているのでしょう?

C:傾きは順位の変化を表している。

#### まとめ

では、発表してくれたことを使ってまとめましょう。

《子供の言葉を拾い集める》

[まとめ]

折れ線グラフに表すと、そのグラフの傾きをみれば順位の変化がすぐにわかることができる

《まとめをうつす》

\_\_\_\_ めあての言葉につながっていること が大事

まとめが写せた人から、最後に振り返りを書きましょう。

《振り返りの発表》

実際の授業と照らし合わせてみて、「導入→展開→まとめ(振り返り)」が明確に なっていることが確認されたでしょうか?授業の基本スタイルではあるのですが、日 常の授業ではなかなか実現していないことが多いのではないでしょうか?いわゆる展 開のみの授業が作られているのかなと思います。導入でしっかりと学習に対する意欲 喚起をさせるということが、まずこれから目指すべき授業スタイルにつながってくる のだと思います。「主体的な学び」を進めるために、一番大事な子供の意欲が備わっ ていないと実現することはできません。いかに本時の授業に対して興味を抱かせるこ とができるか!それが導入の重要なところです。そして、「まとめ」の時間を必ず設 定することです。1時間授業を行っても、子供にとっては「今日の授業は何を言いた かったんだろう…」と疑問に終わるようでは意味がありません。特に「学びあい」を 取り入れた授業だと、「活動あって学びなし」に陥らないとも限りません。どうして このような活動をしてきたのか、そのことを子供の心にストンと落とし込むことが「ま とめ」の時間になります。そして、このまとめの時間があることが子どもの基礎学力 の定着につながってくるのです。教師は、授業が活性化すると成功だと感じるかもし れませんが、学力定着のためには「まとめ」を大事にすることでずいぶん変わってく ると思います。

この2つをきっちり設定したうえで、「展開」をどう工夫していくのかにつながってくるといえます。「学びあい」の研究の中心はこの「展開」場面になるわけです。 子供につけたい力(本時の Goal)に導くために、どのように展開を工夫していくのかが味噌となるわけです。

先日の原先生の授業はこのことが実現されていました。改めて紹介する場面を設けていきたいと思います。

· · · to be continued · · ·